

# 平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	汚水管渠改良事業				継続					
コード	81	-	23	-	01	-	00	予算事業名	汚水施設整備事業	
担当部署	事業推進部	下水維持課		管路施設担当		予算事業コード	会計 2	款 04	項 10	目 20

## 1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	下水道法
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	なし
施策	3	公共下水道等の整備		
細施策	3	公共下水道施設の維持管理		

## 2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	老朽化した汚水管渠 汚水管渠の延命化及び流下能力の向上を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	老朽管渠の改良・補修工事

## 3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		392,997	346,633	345,238	438,000	429,080	
事業費	A	388,964	344,628	342,061	270,467	429,080	429,080
	B	7,400	6,660	8,510	8,510	8,140	8,140
総コスト(C=A+B)		396,364	351,288	350,571	278,977	437,220	437,220
正規職員(1年間の従事人数)		1.00人	0.90人	1.15人	1.15人	1.10人	1.10人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0		
その他特定財源	E	229,200	172,100	215,500	161,100		
市の財政負担(=C-D-E)		167,164	179,188	135,071	117,877	437,220	437,220

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

## 4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	工事延長	m	4,385	4,518	4,703	4,699	一年間の総工事延長
活動	工事件数	件	8	6	5	8	一年間の総工事件数
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		下水道普及率が85.0%に達している今日、耐用年数を超える管路施設も多く公衆衛生、市民生活環境保全を保つため、今後更に改良・更新等を行う必要がある。					

## 5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
管路施設の老朽化が進む中、適正な維持管理を進めるために計画的かつ効率的な維持管理体制が必要である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
人口、面積、下水道の普及率等に違いはあるが、同じ課題に継続的に取り組んでいる状況である。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
下水道整備に伴い、管路施設のストックが増大している。これに伴い、管路施設の老朽化等に起因した道路陥没も増加傾向にあり、道路陥没後の老朽管路の改築といった事後的な対応では、市民生活に大きな支障が出るだけでなくコスト的にも不経済になってしまう。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	拡充
管路施設の老朽化が進む中で計画的な改築、更新の必要性がある。今後計画的な投資により管路施設の適切な管理、更新を図り、ライフラインとしての下水道の機能を維持していきたい。	